

大学番号：私060

注3

[平成31年度設置]

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1

杏林大学大学院 国際協力研究科
グローバル・コミュニケーション（博士前期課程）専攻

届出

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人杏林学園
令和元年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 井の頭事務部教務課

職名・氏名 課長・清水^{シミズ}みさ子^コ

電話番号 0422-47-8000

（夜間） 0422-47-8064

F A X 0422-47-8054

e-mail kenkyuc@ks.kyorin-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について

(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

国際協力研究科

＜グローバル・コミュニケーション専攻＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	11
4. 既設大学等の状況	12
5. 教員組織の状況	14
6. 附帯事項等に対する履行状況等	22
7. その他全般的事項	23

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人杏林学園

(2) 大学名 杏林大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒181-8612
東京都三鷹市下連雀5-4-1

(〒181-8611)
(東京都三鷹市新川6-20-2)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(マツダ ヒロハル) 松田 博青 (昭和63年2月)		
学長	(オオタキ ジュンイチ) 大瀧 純一 (平成30年4月)		
研究科長	(オオカワ マサトシ) 大川 昌利 (平成26年4月)		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください）。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの5年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
国際協力研究科 グローバル・コミュニケーション専攻 修士(学術)	社会学・社会福祉学関係 文学関係	2年	24人	年次 0人	48人	基礎となる学部等 外国語学部 ・ 英語学科 ・ 中国語学科 ・ 観光交流文化学科

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和元年度		令和2年度		平均入学定員 超過率	開設年度から報告 年度までの平均 入学定員超過 率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	17人 (-) [-]	7人 () []	-人 (-) [-]	-人 (-) [-]	0.08倍	一倍	
志願者数	14 (-) [9]	() () []	- (-) [-]	- (-) [-]			
受験者数	14 (-) [9]	() () []	- (-) [-]	- (-) [-]			
合格者数	4 (-) [3]	() () []	- (-) [-]	- (-) [-]			
B 入学者数	2 (-) [2]	() () []	- (-) [-]	- (-) [-]			
入学定員超過率 B/A	0.08						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	2 [2] (—)	— [—] (—)	[] ()	[] ()	
2年次	/		[] ()	[] ()	
計	2 [2] (—)		[] ()		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	2人	0人	令和元年度	0人	0人	
令和2年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
合計	2人	0人		人	人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{2} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体			
	校舎敷地	206,245.91㎡	0.00㎡	0.00㎡	206,245.91㎡				
	運動場用地	14,570.00㎡	0.00㎡	0.00㎡	14,570.00㎡				
	小 計	220,815.91㎡	0.00㎡	0.00㎡	220,815.91㎡				
	そ の 他	2,275.17㎡	0.00㎡	0.00㎡	2,275.17㎡				
	合 計	223,091.08㎡	0.00㎡	0.00㎡	223,091.08㎡				
(2) 校舎	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体			
		117,073.11㎡	0.00㎡	0.00㎡	117,073.11㎡				
		117,073.11㎡	(0.00㎡)	(0.00㎡)	117,073.11㎡				
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	82室	82室	62室	6室 (補助職員 0人)	3室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	国際協力研究科 グローバル・コミュニケーション専攻			13 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕		視聴覚資料	機械・器具	標 本	図書、学術雑誌、 視聴覚資料は大学 全体数	
		冊	種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	点	点	点		
		グローバル・コ ミュニケーション専攻	228,816 [44,685] 246,647 [45,997]	6,299 [2,855] 4,943 [2,733]	15,927 [14,519] 15,739 [14,443]	10,049 (10,262)	33,218 (33,234)		426 (448)
		計	234,116 [44,985] 236,047 [45,397]	6,299 [2,855] 4,943 [2,733]	15,927 [14,519] 15,739 [14,443]	10,049 (10,262)	33,218 (33,234)		426 (448)
		(234,116 [44,985]) (236,047 [45,397])	(6,299 [2,855]) (4,943 [2,733])	15,927 [14,519] (15,739 [14,443])	(10,049) (10,262)	(33,218) (33,234)	426 (448)	図書、学術雑誌数の 増減は、新規受 入と除籍による。 (元) 機械・器具、標本 数については、経 年劣化により廃棄 を行ったため減 数。(元)	
(6) 図書館	面 積		閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 医学部図書館で1 席増席したため変 更。(元)		
	6,730.53 ㎡		808 807		463,056				
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体		
	5,148.20 ㎡		トレーニングルーム						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	教員1人当たりの 研究費は履修人数 と担当教員の変動 のため減額。 (元) 共同研究の学内選 考において不採択 となったため、共 同研究の申請は行 わない。(元)
		教員1人当たり研究費等	116千円 192千円	116千円 192千円	図書購入費	1,000千円 -218千円	1,000千円 -236千円	1,000千円 -255千円	
		共同研究費等	0千円 1,550千円	0千円 1,550千円	設備購入費	0千円	0千円	0千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		900千円	450	- 千円	- 千円	- 千円	- 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金収入、手数料収入等を充当する。					

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	杏林大学										備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所在地		
	年	人	年次	人		倍	年度	年度	年度		
医学部 医学科	6	117	—	702	学士 (医学)	1.00		昭和45	東京都三鷹市新川六丁目20番2号 東京都三鷹市下連雀五丁目4番1号		
保健学部 臨床検査技術学科	4	120	—	410	学士 (保健衛生学)	1.06		昭和54	東京都三鷹市下連雀五丁目4番1号 東京都三鷹市新川六丁目20番2号		
健康福祉学科	4	50	—	172	学士 (保健衛生学)	1.08		昭和54	同上		
看護学科		150			学士 (看護学)	1.04		平成6			
看護学専攻	4	100	—	380		1.00		平成24	東京都三鷹市新川六丁目20番2号 東京都三鷹市下連雀五丁目4番1号		
看護養護教育学専攻	4	50	—	180		1.12			東京都三鷹市下連雀五丁目4番1号 東京都三鷹市新川六丁目20番2号		
臨床工学科	4	60	—	210	学士 (臨床工学)	1.11		平成18	同上		
救急救命学科	4	50	—	180	学士 (救急救命学)	1.16		平成19	同上		
理学療法学科	4	56	—	202	学士 (理学療法学)	1.07		平成21	同上		
作業療法学科	4	54	—	188	学士 (作業療法学)	1.15		平成23	同上		
診療放射線技術学科	4	66	—	232	学士 (診療放射線学)	1.06		平成25	同上		
臨床心理学科	4	80	—	80	学士 (臨床心理学)	0.89	平成30	平成30	同上		
総合政策学部 総合政策学科	4	150	第3年次 3	571	学士 (総合政策学)	1.12	平成30	昭和59	東京都三鷹市下連雀五丁目4番1号 東京都三鷹市新川六丁目20番2号		
企業経営学科	4	80	第3年次 3	301	学士 (企業経営学)	1.15	平成30	平成18	同上		
外国語学部 英語学科	4	130	第3年次 4	488	学士 (文学)	1.05		昭和63	東京都三鷹市下連雀五丁目4番1号 東京都三鷹市新川六丁目20番2号		
中国語学科	4	30	第3年次 5	130	学士 (中国語コミュニ ケーション学)	1.27		平成23	同上		
観光交流文化学科	4	90	第3年次 3	336	学士 (観光交流文化学)	1.10		平成22	同上		

大学の名称	杏林大学大学院									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍				
医学研究科	4	34	—	136	博士 (医学)	0.38		昭和51	東京都三鷹市新川六丁目20番2号	
保健学研究科										
保健学専攻 (博士前期課程)	2	7	—	14	修士 (保健学)	1.21		昭和59	東京都三鷹市下連雀五丁目4番1号	
看護学専攻 (博士前期課程)	2	7	—	14	修士 (看護学)	0.21		平成20	東京都三鷹市新川六丁目20番2号 東京都三鷹市下連雀五丁目4番1号	
保健学専攻 (博士後期課程)	3	4	—	12	博士 (保健学)	0.75		昭和61	東京都三鷹市下連雀五丁目4番1号	
看護学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	6	博士 (看護学)	0.50		平成22	東京都三鷹市新川六丁目20番2号	
国際協力研究科										
国際開発専攻 (博士前期課程)	2	10	—	20	修士 (開発学)	0.15		平成5	東京都三鷹市下連雀五丁目4番1号	
国際文化交流専攻 (博士前期課程)	2	10	—	20	修士 (学術)	—	平成31	平成5	東京都三鷹市下連雀五丁目4番1号	平成31年度 学生募集停止 定員変更 (Δ10)
国際医療協力専攻 (博士前期課程)	2	6	—	12	修士 (国際医療協力)	0.33		平成16	東京都三鷹市下連雀五丁目4番1号 東京都三鷹市新川六丁目20番2号	
国際言語コミュニケーション専攻 (博士前期課程)	2	14	—	28	修士 (言語コミュニケーション学)	—	平成31	平成21	東京都三鷹市下連雀五丁目4番1号	平成31年度 学生募集停止 定員変更 (Δ14)
グローバル・コミュニケーション専攻 (博士前期課程)	2	24	—	48	修士 (学術)	0.08	平成31	平成31	東京都三鷹市下連雀五丁目4番1号	定員変更 (24)
開発問題専攻 (博士後期課程)	3	10	—	30	博士 (学術)	0.3		平成7	東京都三鷹市下連雀五丁目4番1号	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
設 置 時 (平成30年12月)	該当なし	該当なし	該当なし

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<国際協力研究科 グローバル・コミュニケーション専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 学部に設置されるFD委員会、各事務部門と連携をしながらFD・SD活動を実施する。 国際協力研究科においては、研究科長、各専攻教務委員会責任者、学生委員会委員長など教員8名で構成された「大学院運営委員会」にてFD活動及び自己点検評価活動を推進し、教員資質向上に努めている。関係規程は特でない。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 大学院運営委員会を月1回開催し、平成30年度は11回実施した。概ね全員参加している。</p> <p>c 委員会の審議事項等 大学院FD・SD活動、自己点検・自己評価に関することを含め、大学院国際協力研究科の運営に関すること。</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>b 実施方法</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>○シラバスに関する研修会 次年度シラバス記載方法変更の確認、シラバスの改善を授業改善につなげることを企図した研修会 平成30年11月21日（33名参加）</p> <p>○海外危機管理シミュレーション 海外において活動中の学生に重大な事故に遭遇したことを想定した危機事故対策模擬訓練 平成31年3月12日（64名参加）</p> <p>○授業評価表彰 春学期および秋学期の学期末に行う授業評価において高い評価を得た教員を表彰する 平成30年10月17日（12名） 平成31年2月20日（5名）</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 各教員へフィードバックする授業評価アンケート結果や、講演会などで得た知見をもとに、各教員が自ら授業改善策を検討し、実際の授業で実践している。</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期 春学期（7月）と秋学期（1月）に全授業で実施している。</p> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等 アンケート結果は、研究科委員会を通じて教員に公表される。</p>

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

① 体制

- a 委員会の設置状況（各区分を踏まえた委員構成を踏まえた委員の追加や交代状況含む）
- b 委員会の開催状況（回数や開催日など）
- c 委員会の審議事項等
- d その他

② 審議状況

a 審議した内容

記入例)

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

グローバル・コミュニケーション専攻は、わが国を取り巻く国際社会および、国内で進む多文化共生社会にあって、互いの文化・言語・社会に対する理解の欠如等に起因する諸問題解決のため、異文化間コミュニケーションの専門分野に熟達し、理論と実践、複眼的視座からの深い知見と洞察力をもとに、国内外でこの分野の先導的な役割を担って活躍しうる研究者、および高度専門職業人に必要な諸技能を身につけた人材の養成を目的として新設された。

設置後1ヶ月を経た現在、前期セメスターに配置を予定していた科目すべてを開講し、順調に授業がはじまっている。とくに、国際協力研究科全専攻の共通科目として新設した、日本語を母語としない学生に推奨する「アカデミック・ジャパニーズ」は、旧カリキュラムで学ぶ留学生からも、履修はできずとも聴講して学びたいという希望が出るなど、本研究科の留学生のニーズに応えるかたちでスタートすることができた。

今後、本専攻で学ぶ留学生、社会人を含めた多様な背景や学際的な問題意識を持つ学生が、グローバル社会に求められる異文化間コミュニケーションに関する実力を身に付け、研究者、高度専門職業人としての能力を修得できるよう、コースワークやリサーチワークのそれぞれの科目で少人数体制による双方向性の教育や能動的学修をきめ細やかに進めていく予定である。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・2019年4月1日公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

記入例)

2022年度に評価機関（公益財団法人大学基準協会）の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 (有 無)

b 公表有の場合の公表（予定）時期 (2019年 7 月 1 日)

b 公表無の場合の特段の理由 ()

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。